

ブドウ「シャインマスカット」栽培指針完成！

【平成 29 年 8 月 10 日掲載】

平成 29 年 7 月 25 日に JA 福山市にて、広島県果樹振興協会ぶどう部会の総会及び研修会が開催され、生産者 9 名、関係機関 23 名の計 32 名が参加しました。総会では、昨年度事業報告及び今年度の事業計画が承認されました。その後の研修会では、西部農業技術指導所の県域チームが県内で栽培面積が増えているブドウ「シャインマスカット」の栽培指針についての説明をしました。

「シャインマスカット」は平成 18 年に品種登録された大粒品種で、平成 26 年には国内のブドウ栽培面積で巨峰などに続き 4 番目（平成 26 年農林水産省特産果樹生産動態等調査）に位置するまでになっています。県内では、ピオーネ、マスカットベリーAなどに続き、4 番目の 11.5ha で栽培されています。

品種登録後、栽培について産地ごとに試行錯誤していましたが、「県内統一の栽培指針を作成してはどうか。」という声があがり、数年の現地試験・検討を経て、一定程度の栽培技術が確立され、この日の報告となりました。

栽培指針の内容は、品種の紹介から栽培方法、病害虫の知識など 35 ページとなっています。「シャインマスカット」の栽培で苦労してきたことをもとに、栽培のコツなどが多く盛り込まれています。

今後、校正・印刷後、関係者に配布され、来年作から県内各産地での講習会の資料として役立つことが期待されています。



【研修会の様子】



【栽培指針】

情報提供元

西部農業技術指導所